

小菅智淵 軍人測量家。国土地理院5万分の1地図の開発者。

こすげともひろ

鼠小僧磔・・1832 = 幕臣関定孝の次男に生まれる。辰之助。

大塩平八郎乱1837 = 5歳 :

天保改革始・1841 = 9歳 :

小菅豊の養子となり、

阿部正弘首座1845 = 13歳 :

国定忠治磔・1850 = 18歳 :

榎本武揚の後輩として、昌平黌に学び、

ペリー来航・1853 = 21歳 :

軍艦操練所から、開成所で砲兵指図役頭取となって、"幕府工兵隊"創設を準備。

五ヶ国条約・1858 = 26歳 : 幕臣土肥貞蔵の娘さくと結婚。

安政の大獄・1859 = 27歳 :

桜田門外変・1860 = 28歳 :

生麦事件・・1862 = 30歳 : 長女が誕生。

禁門の変・・1864 = 32歳 : 次女が誕生。

明治維新・・1868 = 36歳 : 三女が誕生。江戸城明け渡しに反対し、妻子を浜松に送り、幕府脱走軍に加わり、土方歳三らと転戦、仙台から榎本武揚の軍艦に乗り込み、函館で、五稜郭政府閣僚になるが、

戊辰戦争終・1869 = 37歳 : 新政府軍の攻撃によって降伏、投獄されるも、黒田清隆の嘆願によって、榎本らとともに処刑を免れ、

初の日刊新聞1870 = 38歳 : 早くも釈放され、浜松で妻子と再会後、和歌山藩に呼ばれて、工兵教育に従事、

廃藩置県・・1871 = 39歳 : 四女が誕生。娘たちには英語教育を受けさせて行く。大阪に置かれた工兵隊の教導団に出仕、

学問のすすめ1872 = 40歳 : 上京して、築造局に出仕、兵学大助教となり工兵操典を編集。小教授を経て士官学校教官、少佐となって、教導団教官を兼務、フランスの軍事顧問団のジョルダンやクレマットンと接触して、地図形式を学び、

明治6年政変 1873 = 41歳 : *ジョルダン監修で、小冊子「地図形式」を執筆、

西南戦争・・1877 = 45歳 :

琉球処分・・1879 = 47歳 : *東京海岸防御取調員となり、山県有朋に見込まれて、参謀本部測量課長を兼ねる。

・・・・・1880 = 48歳 : 士官学校確立の功で、勲三等。

明治14年政変1881 = 49歳 : 参謀本部測量課長専務となった後、

新体詩抄・・1882 = 50歳 : 中佐に昇進、

岩倉具視没・1883 = 51歳 : 工兵会議員、参謀本部地図課長、海防局御用係を兼務、

秩父事件・・1884 = 52歳 : 参謀本部測量局長になる。

内閣発足・・1885 = 53歳 : 2万分の1で日本をカバーしようとするも、時間と金額がかかりすぎるため、*5万分の1地形図を作成することになり、その方法や地図上の諸記号のほとんどを開発、

帝国大学始・1886 = 54歳 : 大佐に昇進し、工兵局御用係を兼務。

初の対等条約1888 = 56歳 : *陸地測量部が設置されて部長になるが、まもなく、没した。

5万分の1地形図は、没後2年に整備が始まり、現在も国土地理院から発行されている。